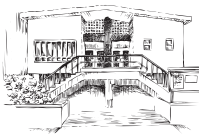
日本聖公会

大阪教区報

大阪聖パウロ教会

大阪聖アンデレ教会


旧 大阪聖三一教会

主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
osakakoho2022@gmail.com
発行責任者
総務局長 司祭 金山将司

第526号 2025年8月20日発行

「エッファタと語られる主イエス」

司祭 ヤコブ 松平（まつだいら） 功（いさお）

人々は耳が聞こえず舌の回らない人を連れて来て、その上に手を置いてくださるようにと願った。そこで、イエスは…天を仰いで深く息をつき、その人に向かって、「エッファタ」と言われた。これは、「開け」という意味である。すると、たちまち耳が開き、舌のもつれが解け、はっきり話すことができるようになった。（マルコ7：32～35）

クリスチャン雑誌に、夏の教会キャンプでのお話が載っていました。そのキャンプには難聴を患う少女が参加していたそうです。彼女は小学生の時に高熱によって聴覚障がいになり、補聴器をつけるようになりました。しかし、難聴は補聴器さえあれば、問題がなくなるというような簡単なものではありません。補聴器をつけていても、音のする方角が分かりません。だから、沢山の人がいる中で名前を呼ばれても、誰が何処から呼んでいるのか見当もつきません。また、補聴器は人間の耳のように聞きたい音を選り分けてくれません。ホールなどで沢山の人々が雑談していると、声がざわざわと響くだけで話しかけられても全く聞き取れないそうです。

彼女は、学校生活の中で「雑音の中で暮らしていた」と表現していました。特にお昼休みの時間が耐えられない程つらかったそうです。ガヤガヤとうるさい教室や、学食で話しかけられても、聞き取れないので、非常に神経を使います。話の内容を想像して友達の輪の中に入ろうとするのですが、意味がさっぱりわからない。分かっているようなふりをして、誤解されたり、疎外感を感じたりするのは毎日のことでした。自分の生きづらさは誰にも分かってもらえません。最終的に友達の輪からはずれて、いつも一人でいるようになりました。とても孤独な日々を送っていました。

ある夏、母から勧められて初めて教会のキャンプに参加しました。そこで、キャンプのお手伝いに来ていた女性から「あなたは、人の話を一生懸命聴くから、きっと良いお母さんになるわ」と言われたそうです。現在では、ハラスメントに類するような言葉なのですが、この何でもない言葉が、彼女の心に光をともしました。その言葉がとても嬉しかったそうです。実際は、耳で聴くだけではわからないから、相手の表情や口の動きを真剣に見ていただけなのです。今までは聴くことは最もつらいことで、劣等感を抱かせる以外の何物でもありませんでした。その自分の最も嫌だと思っている部分に、人の言葉を通して神は光を与え、働かれたのです。その時から、彼女は心が開かれ、変えられ友達にも積極的に接することができるようになったそうです。

「あなたは、人の話を一生懸命聴くから、きっと良いお母さんになるわ」という何気ない言葉が、彼女にとって「エッファタ。開け」という主イエスの言葉として心に響いたのです。でも、決して難聴が治ったというわけではありません。苦労もつらいことも今までと同じようにあります。しかし、人の話を一生懸命に聞く人とほめられ、「難聴という障がいも神様の恵みである」と知ったと、この少女は言い切ることができるようになったのです。

主イエスは「エッファタ、開け」といって、現在においても、様々な方法で私たちにも語りかけておられるのかもしれません。私たちはつらい時、悲しい時、そのような時にこそ、じっと心の耳をすまして、神の声を聴いてみる必要があるのです。そして、自分の中の、神の声を感じ取ること。その主イエスのみ言葉に耳を傾けることができた時に、わたしたちも心の耳が開かれ、変えられていく。そう心から信じます。

（大阪聖アンデレ教会牧師、桃山学院中学高等学校チャプレン）

新任研修報告

2025年5月21～23日
埼玉県川越市において

※新任研修とは神学校を卒業し、新たに宣教の現場に出た方々のために、管区が主催する人権研修です。これまで大阪でも開催されており、生野センターなどでも開催されていました。

聖職候補生 ヴェロニカ 薦田（こもだ） 久美子（くみこ）

主の平和がありますように

この研修では被差別部落に対する偏見と差別について学ばせていただきました。研修内容の詳細については『管区だより6月号』に書かれていますので、ここでは現地で購入した狭山事件についての本（黒川みどり著『被差別部落に生まれて』）を読んで再認識したことを書きます。つまり学びは人にとって最優先事項の一つだということです。

警察や偏見をもった近隣の人々によって犯人に仕立て上げられた石川一雄さんは、家が貧しかったためにろくに学校へ行けず、逮捕当時、文字の読み書きがほとんどできませんでした。拘置所で「社会の人に訴えるために文字を教えてやる」という看守と出会った石川さんは、文字を猛勉強する過程で自分が幼少の時からなぜ差別的な扱いを受けるのか、また被差別部落が世間からどのように思われているかを知ります。

文字を学ばなければ自分の思いを外部に発信するのは難しく、支援者からの手紙の意味も理解できず返信もできなかったでしょう。また、〝仕立て人〟たちも学ぶべきことがあったでしょう。

石川さんは獄中で短歌も書き始められましたが、その中で特に印象に残ったものを記します。石川さんは今年3月に急逝されました。魂の平安をお祈りいたします。

「紫か　紅か絞りか　朝顔の
花は明日を
知らんで咲くも」

（大阪聖ヨハネ教会勤務）

聖職候補生 ステラミシェル 大倉（おおくら） 有紀（ゆき）

5／21（水）から23日（金）まで2025年度の新任人権研修に参加させていただきました。川越基督教会を会場として、最初のセッションで第38回（定期）総会における部落差別発言について学び、その後のセッションでは狭山事件について学びました。

三日間のプログラムのなかで最も印象的であったのは、狭山事件が起きた場所で行われたフィールドワークです。事件の概要を聞きながら実際にその場所を歩いて景色を見ていくと、石川さんが冤罪をかけられたことがはっきりと理解できました。また、この事件が部落差別問題と深く関わっており、人々の心の中にある不安や恐れ、疑いや攻撃性などが絡んだ大きな事件であったことを肌で感じるような体験をしました。

研修を受けて感じたのは、物事を知ろうとする姿勢の大切さです。そして、物事とその根底にあるものを可能な限り自分の目で確認し、考えること。また、そのプロセスのなかでは、神様にも問い祈る時が必要なのではないかと思いました。

狭山事件について、私は中学生の時に道徳の授業で学んだ記憶があります。しかし、フィールドワークで実際の現場を見たことで、自分が今まで抱いていた事件の印象が変わったと感じています。この事件は大きな差別の渦の中で生まれています。座学ではその渦の大きさや暗さに学びの焦点があてられがちです。しかし、私は石川さんが住んでおられた家や、過ごしておられた日常の風景を実際に見たり触れたりしたことで、石川さんが家族と過ごしておられた時間がきっと豊かであったのだろうと想像し、その時の石川さんの命が輝いているように感じたのです。

私たちには差別について学び、知ろうとする努力が必要です。しかし生涯を通して戦われたある一人の方の人生が、誰かにとって光であったと気付くこと、そしてその方の魂の平安を祈ることも同じくらい大切なのではないかと、私は今回の研修で学びました。

家族の都合があったので、（了承を得た上で）娘を研修に一緒に連れていき、セッション中は川越基督教会付属の幼稚園の一時預かりを利用させてもらいました。幼稚園の先生方にはとてもよくしていただき、娘はとても楽しい時間を過ごしたようです。親子で非常に実りのある三日間を過ごすことができました。参加させていただいたことを心より感謝いたします。

（高槻聖マリヤ教会勤務）

聖公会生野センターをお助けください

聖公会生野センターは大阪市生野区で多文化多民族共生社会の実現のために33年の歩みを続けてきました。7月末にスタッフの一人が入院治療のため現場を離れ、これまでの体制が変化を余儀なくされました。教会関係者はじめいろいろな方面に日常の働き人のヘルプを呼びかけ、沢山の方々に助けて頂いております。

私も初めて生野センターの普段の現場に入り働きに加わらせて頂いております。多くの発見があります。通所・介護事業が主な働きですが、実際に入らせて頂いて感じることは、そこに集う人々の多人種多文化性です。特に温かい気持ちになるのが昼食です。家庭味の韓国・朝鮮料理を作り、みんなでおいしいおいしいと言って食べるその雰囲気は、これまでの聖公会生野センターが大切にしてきた多文化多民族共生の実現を目の当たりにしている感じがします。

普段なかなか聖公会生野センターに足を運ぶ機会がないと思いますが、今働き人を大募集しています。一日だけでも数日だけでも、ばらばらの日でも、短い時間でも大歓迎です。時給と交通費をお支払いいたします。共にいてくださる、それが何よりの感謝です。お気軽に私の方にご連絡いただければ対応させて頂きます。是非一度来てみてください。

同センター理事長
主教　バルナバ小林　聡

公　示

救主降生2025年７月８日
日本聖公会大阪教区主教
主教　バルナバ　小林　聡

神のお許しがあれば、下記のとおり聖職按手式を執行し、
聖職候補生　ステラ・ミシェル　大倉　有紀
を公会の執事に叙任いたします。
主にある諸教会、皆さまの代祷をお願いいたします。
またご臨席いただければ幸甚に存じます。

記

◇日　時　救主降生2025年９月13日（土）13時00分～
◇式　場　大阪教区主教座聖堂　川口基督教会
　〒550-0021　大阪市西区川口１－３－８
◇司式者　主教　バルナバ　小林　聡
◇説教者　日本基督教団洛南教会牧師　井上　勇一　師
◇式典長　司祭　ステパノ　柳　時京
※祭色は「赤」を用います。　以上

2025 聖公会生野センター研修会のご案内

主催：聖公会生野センター大阪教区後援会・京都教区社会部

蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。聖公会生野センター大阪教区後援会と京都教区社会部との共催で、聖公会生野センターの働きや生野地域に暮らす人々の現状を学ぶ研修会（フィールドワーク）を行います。皆さまの参加をお待ちしています。

○ 日　　時：９月20日（土）　午後１時～午後４時頃
○ 集合場所：JR鶴橋駅中央改札口（近鉄、地下鉄で来られた方も、上記の場所に来て下さい）
　午後１時に集合（JR鶴橋駅中央改札口）し、移動（徒歩）します。

見学ルート	JR鶴橋駅 → 商店街 → 朝鮮市場 → コリアタウン → 御幸森神社 → 大阪コリアタウン歴史資料館 → 聖公会生野センター（解散）
費　　用	歴史資料館入場料 300円
申込締切	９月７日（日）
申　込　先	氏名・連絡先（携帯）・所属教会を書いて下記に送付してください。 大阪教区の方：鈴木 憲二　junsei423@yahoo.co.jp FAX 06-6427-5320（尼崎聖ステパノ教会） 京都教区の方：奥 晋一郎 司祭　s.oku710311@gmail.com FAX 075-451-2187（京都復活教会）

○ 問い合わせ先（当日の連絡先）
大阪教区：鈴木　090-2068-5829　　京都教区：奥　070-6684-1371

総務局長就任にあたり

司祭　ペテロ　金山　将司

２０２５年６月より、小林主教のご下命により総務局長に就任いたしました。教区事務所および教区のさまざまな働きを支える重要な職務を任され、身の引き締まる思いでございます。

総務局長という大役を担うにあたり、ささやかな目標として教区事務所の業務の把握と効率化を目指したいと考えております。

現在、大阪教区事務所では、皆様からいただいた貴重な献金の会計処理をはじめ、聖公会や諸宗教団体との折衝、教区が所有する土地・建物の管理・保守、納骨堂に関する行政手続き、教会の法務・税務など、多岐にわたる業務を取り扱っております。これらの業務について、次の教区会までに、タスクの設定と達成時期の明確化を行い、業務状況の把握と効率化を推進する所存です。今後はそれをベースに、適切な時に、可能な限り正確な業務遂行体制を整えることを目指します。

次の教区会の任期までの短い期間ですが、一所懸命に取り組んでまいります。皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

（総務局長）

日本聖公会　大阪教区婦人会

秋の修養会

2025年10月18日(土)13時 ～15時

会場：大阪聖パウロ教会

「人の声に耳を傾ける」

講　師：社会福祉法人 関西いのちの電話
事務局長 柴（しば） 守昭（もりあき）氏

献金先：関西いのちの電話

守口ぶどうのいえ
設立20周年『感謝の祈りと茶話会』のご案内

1．日　時　　2025年10月４日（土）　14：00～16：00
2．場　所　　守口聖オーガスティン教会礼拝堂・守口ぶどうのいえ
3．内　容　　感謝の祈り
記念講話：藤井（ふじい） 理恵（りえ） 氏（元淀川キリスト教病院チャプレン）
茶話会
施設見学会（ご希望の方）

※各教会にお送りしております「返信用はがき」に出欠をご記入の上、
８月末日までにご投函ください。

大阪教区礼拝・音楽委員会主催

「奏楽奉仕者のつどい」vol. 2 のご案内
～教会暦にふさわしい奏楽曲の選び方～〈基本編〉

礼拝を支える奏楽奉仕者のつとめを共に学び、お互いに交流いたしましょう。

日　時　　2025年９月28日（日）　午後２時～４時

【三「い」体　～いのち　彩る（いろど）　祈り（いの）～】改正祈祷書への招き

改正祈祷書の試用版を、ぜひお手元でもっ！

司祭　フランチェスコ　成岡（なるおか）　宏晃（ひろあき）

現在、祈祷書改正委員会によって改正作業が進められている『改正祈祷書　試用版』の冊子が、管区事務所から各教会へ送付されています。教会ごとに要望があれば管区事務所に追加での送付を依頼することができます。

また、冊子形式以外でも、インターネット上にファイル形式で公開されています。当該のページへは左記の手順（または、QRコードの読み取り）でアクセスできます。

次のようなページ（画像）に到達したら、「改正祈祷書試用版」から各試用版をご覧いただけます。ご使用の際には、使用上の注意点よく読んで用いていただきますようお願いいたします。

『改正祈祷書　試用版』が一人でも多くの方の手元で用いられることを願っています。

（芦屋聖マルコ教会牧師）

聖公会　礼拝委員会　検索

→「日本聖公会　礼拝委員会」ホームページにアクセス
→祈祷書改正委員会のホームページへアクセス
→同ホームページ内より「改正祈祷書のページ」へ

QRコード

日本聖公会 改正祈祷書

Revised New Prayer Book of Nippon Sei Ko Kai

日本聖公会 改正祈祷書 – ホームページ

English Page is here

このWebサイトでは、日本聖公会改正祈祷書の情報をお知らせいたします。

内容（随時追加予定）

改正祈祷書試用版
改正祈祷書情報

ご意見・ご感想はこちらから
改正祈祷書情報提供サービス

祈祷書改正委員会ホームページ
祈祷書改正ニュース

司祭の書棚から

Jean-Baptiste Le Brun des Marettes 著 “Liturgical Travels Through France”（フランス中を典礼旅行する）

司祭　ウイリアム ヒューム ユーワン

幅広い視点から見ると、世界に広く目を向けると、同じ教派の中では、どの国に行っても、ほとんど変わらない礼拝の流れであると思います。しかし礼拝の歴史を学ぶとき、ある視点に目をむけると、特有の問題が出てきます。なぜなら、礼拝の歴史の学びは主に物理的な物に限られているからです。つまり、教会の外部・内部と聖器や式服などが研究の焦点になります。確かに、重要な礼拝の式文が残っているかもしれませんが、礼拝のやり方、またはある教会の独特な習慣は時間の経過によって消えるというわけです。現在の礼拝をもっとも理解するため、または未来の礼拝を計画するためには過去の礼拝を分からなければならないと思います。今年出版された“Liturgical Travels Through France”は1718年にパリで出版した“Voyages liturgiques de France”を初めて翻訳した本です。その本の著者Jean-Baptiste Le Brun des Marettesは聖職者ですし、それは彼のフランスでの教会の巡礼の日記というような本です。著者は千以上の修道院や百以上の大聖堂などを訪れ、礼拝について面白いことや感じたことを記録しました。特に、ある礼拝の中で誰が何をしているか、そして、したことなどのやり方を説明しています。けれども、その本は包括的な記述ではなく、また客観的な記述でもありません。そして、著者は典礼の美術と建築についての自分の意見を出しますし、基本的に後期の中世時代以降の進展には反対ですので、礼拝の歴史を美化する本と言えることは出来ません。例えば、聖餐式の時だけ祭壇を飾りますし、全身を覆う円錐形のチャズブルを着ることなどは著者は勧めています。そして、本の中には絵が55枚あり、主な内容は教会内の配列や様々な聖職者の式服の線画です。

私がこの本を読んだ時、もっとも具体的な礼拝に出席したようなイメージが頭の中に浮かびましたし、現代の礼拝でも導入出来る部分があるのではないかと思います。そして、その時代において統一性ある礼拝の中でも、多様性が見つかりますので、統一性よりも単一性の方が重要ではないかという結論が出せるかもしれません。

（堺聖テモテ教会牧師、聖ルカ教会管理牧師、桃山学院大学チャプレン、東光学園チャプレン、教区英語礼拝担当）

大阪教区婦人会　昇天日礼拝・総会

アグネス 今中（いまなか） 里枝（りえ）

5月29日（木）午前10時30分より大阪聖ヨハネ教会にて大阪教区婦人会昇天日礼拝が、司式：バルナバ小林（こばやし）聡（さとし）主教、説教：ヒューム ウィリアム ユーワン司祭により執り行われました。出席者は教役者8人を含む92人でした。

ヒューム司祭の自己紹介から始まり、ウィリアム神学館で勉学の時には被献日献金の活用で、聖書に関する書籍などを購入することが出来ましたと感謝をのべられました。そしてイエス様の昇天によってイエス様は御父の右に座しておられ、私たちの代わりにイエス様が昇天されたことによって、私たちの救済が始まることができるということです。イエス様のこの世での生涯はすべて神様の計画によって行われ、イエス様の名によって悔い改めることが神様の計画において重要なことです。「聖霊は私たちと共におられます、私たちは独りではありません。」と昇天の重要性について話されました。代祷の中で昨年度天に召された20人の姉妹の魂の平安をお祈りしました。

当日の信施金10万8181円は、管区を通じて能登半島地震と大船渡の山林火災のため、と大阪聖三一教会のために献げられました。

午後からは大阪教区婦人会第101回総会が75人（内教役者2人）の参加者のもと開催され、各部の活動報告、会計報告が行われ提出議案は全て承認されました。

＊議案4号クリスマスカード送付対象者年齢引き上げの件は、77歳以上としてきたが、80歳以上とする（移行措置として2025年度は78歳以上、2026年度は79歳以上）。

＊議案5号大阪教区婦人会経費・慶弔規定改定の件は、「特別会計」と「福祉活動費」（ミス・ブール記念ホーム喫茶奉仕とメッセージカード送付にかかわる費用）の項目を明確にする。

総会後にはバザーが開催され、準備頂いた茶菓子を頂きながら歓談の時を持ちました。大阪聖ヨハネ教会は1889年米国聖公会より派遣されていたリーラ・ブール女史の指導のもと、聖ヨハネ教会婦人会の働きとして2名の孤児のお世話をして貧院（現在のヨハネ学園）を設立されました。

この日のためにご奉仕と教会をご提供下さった大阪聖ヨハネ教会の皆様に感謝いたします。

（大阪聖三一教会信徒）

お詫びと訂正

前525号、主教按手式のお祝いメッセージの記載漏れがございました。以下GFS様からの原稿です。

大阪教区新主教誕生に喜びと感謝を申し上げます

岡墻（おかがき） 敬子（けいこ）

主教按手式の準備会のメンバーにGFSにもお声がかかりました。私たちにお手伝いで出来ることは何だろうかと考えていましたところ、按手式当日に新主教自ら手作りのカードを出席者全員に配られるとのことを聞き、ぜひそのお手伝いをさせて頂きたいと申し出ました。カード作りなどクラフト作業は私たちGFSの活動の中で子どもたちとの交流に生かしてきたものでしたので、微力ながらも準備会に関われたことは喜びでした。

按手式にはたくさんの出席者がありましたが、お名前をお聞きするだけで実際にお会いしたことのない聖職者、また関係者の方々と拝顔の機を得たことは主教按手式ならではのことだなと実感しました。

また新主教さまがチャプレンとして勤めてこられた児童養護施設の博愛社からも多くの子ども達の出席がありましたが、大人でも長いと感じた礼拝にむずかることなく、最後まで前でなにが行われているのかをしっかりと見つめるその姿に感心と感動を覚えました。礼拝後子ども達からいくつか質問を受けましたが、私たちの説明がどれだけ伝わったか分かりませんが私たちは子ども達にどう伝えられるのか改めて問われる思いがいたしました。

これから大阪教区のためにお働き下さる小林新主教様の上に神様のお守りが豊かにありますよう心からお祈りいたします。

（大阪教区GFS）

1頁　永野司祭の肩書
誤　大阪教区へ4月より出向中→削除
6頁　逝去者記念礼拝説教者
誤　成岡 宏晃 司祭
正　木村 幸夫 司祭

お詫びして、訂正いたします。

【常】【置】【委】【員】【会】【報】【告】

5/29 第7回（定例）

Ⅰ．諸報告および議事

・主教より諸報告や予定および宣教の方針説明あり共有した。「毎月第3・4・5週は各教会の訪問を願っていること」「教会の合併や財産処分に関する報告と今後の展望」「京都教区・中部教区合併への流れを注視す」「教役者の動静の共有」など。

・三局長会議の報告を共有した。①総務局「交換講壇の予定」「退職者の礼拝交通費の取り扱い」。②宣教局「主教按手式の動画配信開始」「教区墓地の案内や周知」「キッズフェスの報告」「生涯学習委員会の組織の見直し」「張本栄司祭宣教100周年の行事計画」「セーフチャーチ」「宣教協議会の結果の共有方法」「礼拝音楽委員会主催の行事関連」。③財政局「教区分担金の補正案」「按手式決算の経過報告」「主教邸リフォーム経費」が出た段階で締めるので次回委員会で審議。また昇天日礼拝と教区婦人会総会の報告を受けた。

・教区主事および総務局長交代の報告を受け了承した。

・大倉聖職候補生の執事試験合格が報告され、了承した。按手式の日程は6月の主教会後に決定することとした。

・2025年度教会分担金補正案を承認した。

・4月度決算を承認した。

・九州教区主教按手式には、小林主教および柳常置委員長が参加することを承認。

・その他 ①神学生面談に関すること。②富田林住宅（教区所有）の契約関係および城南キリスト教会の光熱費の取り扱いについて管財委員会で検討。　以上

6/19 第8回（定例）

Ⅰ．諸報告および議事

・主教より予定・報告・宣教方針等の説明を受けた。項目は以下の通り。「戦後80年に関する取り組み」（ことに被団協とのつながりや松岡司祭の証言などに関心を寄せていくこと）、「セーフチャーチへの取り組み」、「大阪教区婦人会が日本聖公会婦人会の担当教区となること（今後3年間）」、「U26チャプレン職の位置づけ」など。

・第135・136教区会議事録の確認を柳常置委員長と加納委員に一任した。

・各局（委員会・団体）から以下の通り報告を受けた。

・財政局「ミャンマー災害支援の献金呼びかけを再度各教会に対して行うこと」、「欠員を補充すること」、「会計懇談会を9月に行うこと」、「聖公会生野センターへの支援額の検討」。

・礼拝音楽委員会「7／27子どものためのパイプオルガン体験会」の実施について。

・大倉有紀聖職候補生の執事按手式について以下の通り決定した。

・9月13日（土）13時より川口基督教会にて（司式：小林主教／式典長：柳時京司祭）。説教者は未定。

・神学生との面談・今後の養成について協議した。

・教区事務所主事交替に伴う事務処理について協議した。

・昨年度の期末手当誤支給に関する報告を受け、取り扱いについて判断した。また新たに今年度の支給について承認した。

・ヨシュア髙島亮太さん（聖愛教会）を信徒奉事者として認可した。ただし、期間を2025年12月31日までとした。

・財務委員長より5月の会計

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第２水曜日　川口基督教会

９月10日（水）　10：30～

説教者：齊藤　壹 司祭

４日	執　事	ラザロ 布施 好古（1938）
６日	主　教	ヨハネ 名出 保太郎（1945）
９日	司　祭	ジェームズ・J・チャプマン（1946英）
11日	司　祭	チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド（1941英）
12日	主　教	ヘンリー・エヴィントン（1912英）
14日	宣教師	ドロシー・サローム・ワインウイルソン（1963英）
23日	主　教	ペテロ 柳原 貞次郎（1973）
	司　祭	ドナルド・F・ウインズロー（2000米）
25日	司　祭	田中 正之助（1927）
27日	宣教師	エルシー・メイ・ベイカー（1977英）

10月８日（水）　10：30～

説教者：古澤　秀利 司祭

２日	司　祭	ジョージ・チャプマン（1940英）
５日	司　祭	サムエル 福田 光宏（2013）
９日	主　教	ヨハネ 山田 襄（1993）
12日	司　祭	マルコ 岡 精三（1997）
16日	主　教	ペテロ 松井 米太郎（1946）
	主　教	サムエル・ヘーズレット（1947英）
18日	司　祭	ステパノ 木庭 孫彦（1928）
20日	司　祭	チャールズ・セオドア・ワレン（1949英）
23日	司　祭	ステパノ 遠藤 敏雄（1971）
24日	司　祭	深田 直太郎（1945）
	司　祭	ペテロ 横田 久明（1995）
25日	宣教師	イブリン・アリス・レーン（1971英）
29日	司　祭	セオドシアス・ステファンズ・ティング（1927米）

報告を受け承認した。
・神戸教区主教按手式への派遣司祭として千松清美司祭を選出した。
・柳司祭より小林主教の韓国ソウル教区への表敬訪問について提案があった。
・教役者の休暇について主教の考えが示され教区全体で理解を深めていくこととした。
・年に2回の主日休暇。その際、退職教役者を代行に招く場合、謝礼（1万円）と交通費は教区負担とする等。
・7月の常置委員会は当初の予定を変更し30日に行うこととした。

以上

【局】【長】【会】【議】【報】【告】

4/24 第5回

主教按手式の振返りをした。
広報委員に大倉、薦田聖職候補生を新委員として確認した。
教区会計3月度の月次決算報告がなされた。
教区礼拝について話し合われた。

5/23 第6回

2023年宣教協議会の呼びかけに具体的に働きを示していく。
教区礼拝は、式典長義平司祭、副式典長永野司祭、実行委員長成岡司祭とする。
台湾聖公会との関係をどうしていくか課題。
教区会計4月度の月次決算報告がなされた。
2025年度教会分担金の最終補正案を承認した。
6月1日付で寒河江研司氏を教区事務所主事に推挙した。
6月1日付で総務局長が柳司祭から金山司祭へ交代すると主教から報告があった。

6/23 第7回

大倉有紀聖職候補生の執事按手式の報告が常置委員長よりあった。
災害対策を至急に検討する。
大阪教区代表者変更に伴う事務作業の確認。
大阪教区宣教協議会を開催する意見があった。
教区礼拝のテーマについて話し合われた。
教区会計5月度の月次決算報告がなされた。
ミャンマー災害支援のための献金が各教会に浸透していないので再案内を検討。

7/22 第8回

大阪教区代表者変更に伴う手続きで教区墓地、納骨堂関係、金融機関などが進行中。
執事按手式委員会を発足した。
大阪教区宣教協議会を2027年開催で準備を始める。
教区礼拝のテーマを「戦後80年を憶えて」とする。連続セミナーの開催を検討。
教区会計6月度の月次決算報告がなされた。

洗礼

大阪聖アンデレ教会（7月20日）
カタリナ　藤本（ふじもと）　真帆（まほ）

堅信

大阪城南キリスト教会（4月13日）
マリヤ　井手（いで）　吉志子（よしこ）
大阪聖愛教会（6月29日）
リディア　朱勤（しゅきん）
エリヤ　松村（まつむら）　岳仁（がくじ）
大阪聖アンデレ教会（7月20日）
カタリナ　藤本　真帆

初陪餐

大阪聖愛教会（6月29日）
エリヤ　松村　岳仁
大阪聖アンデレ教会（7月20日）
カタリナ　藤本　真帆

逝去者

芦屋聖マルコ教会
トマス　恒岡（つねおか）　文彦（ふみひこ）（4月11日・92歳）
西宮聖ペテロ教会
ペテロ　山田（やまだ）　隆三（りゅうぞう）（7月19日・84歳）
大阪聖パウロ教会
マリア　佐伯（さえき）　栄子（えいこ）（5月12日・84歳）
ルツ　松山（まつやま）　シヅ（5月24日・99歳）

大阪教区教役者、信徒の皆様へ

大阪教区合同埋葬式のご案内

日　時：2025年11月1日(土) 14時より
場　所：大阪霊園
大東市龍間331
TEL　0120－69－1117

申請締切り：9月末

※お問い合わせは大阪教区事務所まで
教区墓地担当
総務局長司祭　金山　将司